

# 人道・博愛・奉仕の実践

## 先駆者の精神を今に受け継ぎ、次の世代へ

日本赤十字社の前身である「博愛社」が誕生したのは、田原坂の戦いで知られる西南の役の戦火の中。このことから、熊本は「日本赤十字社発祥の地」と言われています。博愛社は1887(明治20)年に日本赤十字社と名前を変え、当院は1944(昭和19)年に日本赤十字社熊本支部診療所として開設しました。以来、「人道」という赤十字の使命のもと、「人道・博愛・奉仕の実践」という基本理念を掲げ、救急医療、国内外の災害救護活動に取り組み、高度急性期医療を担う総合病院として、様々な活動を行っています。私たちは今も、これからも、赤十字精神のもと、医療や救援を通じて人と社会に寄り添い続けます。

## 熊本赤十字病院 誕生HISTORY

### 博愛社の設立

1877(明治10)年の「西南の役」で、ヨーロッパにおける赤十字組織の活動にならない、戦いの犠牲者のための救護団体が設立されました。元老院議官の佐野常民が、時の征討総督有栖川宮熾仁親王に直接請願し設立したのが、後に日本赤十字社となる「博愛社」です。

日赤の父  
佐野 常民



(玉東町正念寺所蔵)

### 西南の役の錦絵

佐野常民の尽力により設立された博愛社が、戦場に赤十字の旗を掲げ、敵味方の区別なく多くの兵士の命を救おうとした様子が描かれています。



博愛社救護所の図(日本赤十字社所蔵)